

学生 ボランティア
体験報告！！

平成 25 年 8 月 5 日から 9 月 5 日にかけて、都内の短期大学に在籍する第 1 学年の学生 8 名がボランティア活動を行いました。

～ ボランティア体験の感想 ～

1Fの初診受付近くに立たせてもらい、患者さんから声を掛けられることがとても多くビックリしました。初日は緊張と不安でとても心配でした。しかし最終日になるにつれて、場所や受付内容など、ちゃんと覚える事ができたのでスムーズに案内をすることができ、良かったなと思いました。自分から声をかけようと努力したのですが、怖くてなかなか声をかけることが出来なかったのが少し心残りです。困っている人がいたら勇気をだして声をかけてあげることが、とても大切なことだと思いました。「思いやりの心」や「気遣い」が重要なことであると改めて感じました。丁寧に対応することも大切である、ということも学びました。患者さんから受けた質問に対し答えられる範囲ではしっかりとハキハキ対応することができましたが、答えられない場合、どうしたら良いか戸惑ってしまう事も多かったなと思います。

戸惑うことも多かったですが、質問が「トイレの場所など」患者さんにとっては「少し分かりにくい場所」であり、何度も聞かれました。初めはきちんと伝わっているか不安でしたが、その後会った時に「さっきは、ありがとう」と言ってくださったりしてとても嬉しかったです。案内する度に自信を持つことができました。エスカレーターを上った2階が活動場所でしたが、自分で実際に場所を見て、きちんと確認しておくことが適切な案内には不可欠であると気が付きました。貴重な体験になりました。

最初は何をしていいかわからずに「ポーっ」としてしまいました。後半になるにつれ、話しかけられる回数も増え、「笑顔」で話しかけられるようになったので良かったです。「ありがとう」と言ってもらえることがすごく、嬉しかったので、これからもすすんで話しかけていきたいと思いました。



担当の方に丁寧に説明していただき、安心して業務に入れました。初診受付の前で活動でした。患者さんには笑顔で対応することができ、申し込み用紙記入後に窓口に出すよう促したところ、「ありがとうございました」とお礼の言葉をいただき、大変励みになり「将来病院で働きたい！」との思いを強く持ちました。

ボランティア実習をさせていただき、病院には様々な患者さんが来ることを身をもって体験しました。外来の場所だけでも、こんなに聞かれるのだなとビックリしました。今後、このような機会があったらまた参加させていただき、業務内容や体験を通して新しい知識を学んでいきたいと思います。

最初は場所の把握も出来ず、案内もぎこちなかったのですが、案内をした患者さんが、暫くしてから私を覚えていたのか「ありがとうございました」と言ってくださいました。声を掛けてくれる方も多く、嬉しく思いました。

私自身、こちらの病院を利用した事がなく「初診の患者さんの対応など出来るのかな」と不安でいっぱいな気持ちですが、職員の方々が丁寧に教えてくださり助かりました。また病院内のことだけでなく、板橋区役所への行き方など周辺のことも聞かれたので「病院のことだけじゃなく、外のことも覚えておいた方がいい！」ということを学び、将来、どこかの病院に勤務した場合の心構えとして、とても役に立つ貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

お店などの接客とは違うことがたくさんありました。行き先の指し方、言葉遣い等に気をつけて取り組みました。患者さんに質問された時、上手く応えられているのか不安でしたが、多くの人に「ありがとう」と言われたので「嬉しい」と感じました。また、病院スタッフの方々の患者さんへの対応を見て、「的確で分かりやすく、優しく対応されていてすごいな」と思いました。良いところを真似して、実践しながら積極的に取り組めたいと思います。病院スタッフの方に丁寧に教えていただきとても感謝しております。



机上では学ぶことが出来ない「人の関わり」を肌で感じる事ができたようです。

また、声を掛けることの重要性、声を掛けられた時の“温かく嬉しい気持ち”を知ってもらえたことと思います。実習受け入れに際して、ご協力いただいた皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。